

## 令和5年度 第1回

### さいたま市立高等看護学院運営委員会議事録

1. 開催場所 令和5年7月25日(火)午後2時00分～3時05分
2. 開催場所 高等看護学院 3階4号教室
3. 出席者 (委員)8人  
細沼 寛(委員長) 齋藤 貴弘 飯島 武 徳本 弘子  
早坂 直子 堀之内 宏久 安西 由紀江 玉野 久美 【敬称略】  
(事務局)  
松澤事務長 松本教務主任 千野教務主任 丹治教務主任  
欠席者 (委員)  
阪 正晴 【敬称略】
4. 議 題 報告事項  
(1) 令和4年度学校評価について(概要説明)  
(2) 令和5年度学院運営目標について  
(3) 令和5年度学校の現状報告  
1) 学生現状報告  
2) 新型コロナウイルス第5類引き下げ後の学校運営について  
3) 新カリキュラムの運用について
5. 公開・非公開  
の別 公開
6. 傍聴人 なし
7. 会議資料 (1) 令和5年度第1回さいたま市立高等看護学院運営委員会式次第  
(2) さいたま市立高等看護学院運営委員名簿  
(3) さいたま市立高等看護学院運営委員会規程  
(4) 令和5年度第1回運営委員会資料
8. 問合せ先 保健衛生局 保健部 高等看護学院  
電話 048-873-0281

1 開会	(司会進行・事務局 松澤)
2 委員長挨拶	(細沼委員長)
3 委員紹介	(事務局 松澤)
4 議事	(事務局 松澤) <さいたま市情報公開例第 23 条に基づく公開、傍聴者の確認。 事務局より、傍聴者ない旨報告>
5 報告 事項 (1) 説明	(事務局 松澤) <報告事項 (1) について説明>
質疑	(徳本委員) 教育理念に、「国際的視野」という文言を追加したとあるが、どのような背景があって入れたのか。 (玉野委員) 国際的視野について。新カリキュラムを考えた時、さいたま市民には、様々な国籍の人が在住しており、人口的にも増加している。そのため、さいたま市民の健康を考えた時、国際的視野を持った方がよいと考えた。また、学生が卒業後、将来的に海外でも活躍できる看護師を育てたいという願いを込めた。 (徳本委員) 学校運営では、「アドミッションポリシーを明確にした」とあるが、その内容が「3年間で卒業できるよう」と記載してある。ホームページでも確認したが、ホームページを見た学生には、アドミッションポリシーが理解しにくく、イメージがわからない。何を目指して何ができたか良いのか分かり難い。役所向けの書類の言葉であり、これから入学する学生、1年生には難しくイメージがわからない。何を求められて何ができたか卒業できるのかが分かり難い。シラバスまで見ると学生はわかるかもしれない。 (玉野委員) 新カリキュラムを検討する前には、アドミッションポリシーやカリキュラムポリシーは明記していなかった。他の看護専門学校や大学を見た時に、アドミッションポリシーやカリキュラムポリシーを明記しているところが多かった。私たちは、どのような学生を求めているのか明文化した方がいいのではないかと考え、受験生に求める能力とし

<p>事項（２）説明</p> <p>質疑</p>	<p>てアドミッションポリシーを掲げた。しかし、受験生が見た時に、アドミッションポリシーだけでは理解しづらいため、受験生に求める能力として注釈が必要なのではないかと感じた。</p> <p>（徳本委員）</p> <p>教育課程・教育では、「学生による授業評価」といった時、教員は授業の到達度をどのように設定しているのか。自己評価の部分が見えてこない。どういうふうに能力を積み重ねていくか。授業ごとにどのように到達度を設定しているのか。どのように設定してサポートしていくのかが見えにくい。学生の課題をどのような目標と照らし合わせて出していくのか。見えるように出していければよいと思う。</p> <p>（玉野委員）</p> <p>教員に対しての授業評価であり、学生がどこまでできるようになったかという学生の能力に関する評価ではない。しかし、学生自らが１年間学びどのように成長したのか、どんな能力が求められているのか言語化して、学生が自己評価および教員の評価をして、どこまで学生ができていくのかを評価する必要がある。これに関しては本学院では、教育評価を実施しているが、内容に不備を感じているため、今後教育評価に関する研修を検討している。</p> <p>（徳本委員）</p> <p>ホームページについて。学生はどこから学校についての情報収集をしているのかは、ホームページである。ホームページにはお金をかけてほしい。多くの人に学校のホームページをアクセスしてもらいたい。そのため、ホームページには力を入れてほしい。</p> <p>（玉野委員）</p> <p>ホームページにはかなり課題があると感じている。本学院は公的な学校であるため、制約もあるが、高校生が進学先を検討する時の第一手段（情報収集）はホームページであるため、ホームページを見て、学校に興味を持ってもらえる内容にしていきたい。</p> <p>（事務局 松澤）</p> <p>〈報告事項（２）について説明〉</p> <p>（早坂委員）</p> <p>学校説明会の主催者は、教員または事務なのか。在校生にも協力してもらっているのか。</p> <p>（事務局 松本）</p> <p>在校生にも協力をしてもらい、座談会を実施している。その中で自</p>
--------------------------	---

	<p>由に在校生へ質問ができる機会、在校生から入学希望者へ学院生活がイメージできるような話をしてもらえる時間を設けている。</p> <p>(徳本委員)</p> <p>質の高い学生の確保について、社会人入学の枠は考えているか。どこの看護学校でも18歳現役学生は減少している。</p> <p>(大貫主幹)</p> <p>社会人枠は、募集要項上「若干名」となっている。社会人入学試験は、推薦入学試験と同日に実施している。社会人入学試験と推薦入学試験で定員の1/2(30名)程度の合格者を出している。</p> <p>昨年度は、社会人入学試験志願者10名であり、合格者は2名。一昨年は、志願者20名であり、合格者4名。毎年10名前後の志願者があり、5名以内の合格者を出している。</p> <p>(早坂委員)</p> <p>学生に授業評価をしてもらうことは良いと思う。最近の学生は、良いことばかり記載する傾向にあるが、時には、「こうしてほしい」という要望も記載してくる。是非、授業評価の返答を教員はしてほしい。</p> <p>(細沼委員長)</p> <p>教育の向上の「ハラスメントの防止」について心掛けてほしい。行政でも、ハラスメントについて注視している。相手のために言ったことや伝えたことが、そうではないように相手は捉えることが多々ある。学校では教職員が学生や保護者のことを思い伝えたことが相手の受け取り方次第で大きな問題へ発展する可能性もあるので、引き続き学生や保護者の対応は丁寧に行っていく。</p>
<p>事項(3)説明</p>	
<p>質疑</p>	<p>(事務局 松本)</p> <p>&lt;報告事項(3)について説明&gt;</p> <p>(徳本委員)</p> <p>新カリキュラムは、自主性、主体性をもって学習をするものとなっているが、自己の到達状況を確認できるようなシステムが必要だと思う。</p> <p>Wi-Fiを設置するということで、インターネットがいつでもどこでも使えるので、今までの教科書主体の授業とは違った新しい授業方法を模索しないとだと思ふ。いつでもどこでも知識は獲得できるので、教員はこれらを活用した教育能力を身に着け、学生が主体的に学べるような教授方法を研鑽しなければならない。学生が勝手に無茶をしようと、勝手にコピーアンドペーストをし、チャットGptでレポートを作</p>

6. 閉会	<p>成する学生もいるかもしれない。賢く使えばよいが、様々な想定をしておく必要がある。</p> <p>(安西委員)</p> <p>今の学生はスマートフォンを使うことには慣れているが、パソコン操作（電子カルテ）には不慣れである。電子カルテの操作以前にパソコン入力ですみずく新人が多くなっているように感じている。学校ではパソコン操作の基本を教えるような授業を、国家試験終了後等に設けることは考えているか。</p> <p>(事務局 千野 松本)</p> <p>昨年まではグループに 1 台のパソコンを使用してのパソコン操作の演習であったため、現在の 2.3 年生はパソコン操作に不慣れな学生はいると考える。3年間の講義の中で、パソコンを使用したレポート課題もあるため、パソコンの基本的操作を学ぶ機会はある。</p> <p>新カリキュラムとなり、今年度からは、情報科学の授業の中で Excel、Word の基本的操作を 1 人 1 台のパソコンを使用し、演習をしている。また、この授業の中では、パソコンでレポート作成をしている。</p> <p>3 年次では、国家試験終了後に看護観を、パソコンを使用し記載している。中には携帯電話を活用して作成している学生もいるが、パソコン操作を学ぶ機会はある。</p> <p>(事務局 大貫)</p> <p>社会人入学試験の説明の追加。一般入学試験の中にも既卒者受験者はいる。現在、本学院の在籍者数は 186 名であり、その中の 21 歳以上の学生は 28 名、約 15%在籍している。</p> <p>(細沼委員長)</p> <p>(事務局 松澤)</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
-------	--